

夏季合宿報告

7/29～30 17名（日帰り1名含む）をもって恒例の夏季合宿が行われました。今回は清里にある小平市の八ヶ岳山荘を小柴さんに申し込んでいただき、格安で行なうことができました。ちょうど7/29から梅雨明けとなり、各地は猛暑だったのですが清里は別天地でした各号車がおのおの2日間どのようなコースを回り成果がどうであったかは詳しく分かりませんが、8月例会で報告され判明すると思います。富士宮市のクロシジミと高ボッチのヒメヒカゲの健在が確認されたのはうれしいことですが、各地で規制や監視が厳しくなり捕まったという話も飛び込こんできて、虫屋にとって嫌な時代になってきたなとひしひし感じさせられました。我々も自制はしますが、行政側にも一考していただかなければと思います。いつもは11時過ぎくらいまでえんえんと続く宴会も今回は10時くらいには終わったようです。皆年をとってきた証拠かな…？

今回のように各市町村の施設をうまく使えば手軽に格安でできそうです。昔と違って建物他もよくなり十分楽しめます。企画の皆様、参加の皆様有難うございました。また、次年度良い企画を立て多数参加の上別天地で楽しく騒ぎましょう。

* 住所変更

宮川登喜子 〒193-0933 八王子市山田町1680-10 T.F: 042-682-1251

* 再度、9月例会は9/26です。お間違いなきよう…

* 30周年記念行事プロジェクトよりのお知らせ

2回の会議を経て概略下記内容が決定しております。

1. 日時、2007.3.11（日）17：00～2時間
2. 場所、吉祥寺東急インホテル、フロアでの立食の会、会費、7000～8000円の予定
3. プログラム、① 講演 色々ご意見やご希望もおありでしょうが、藤岡知夫氏にお願いし了承を得ております（20～30分くらい）
② 会発足当時の歩みを語る（根本氏他）
③ 歓談（創刊号からの会報、ミニたま他展示 小写真展）
④ 抽選会（はずれなし）
4. 東京都のデータ集、会報49号のお渡し（50号記念版は行事の模様を伝える内容を載せるため事後発行する）

当日は総会後に引き続き行なう、出欠確認等細部に付いては追ってご連絡します。

ご希望、案等ありましたら気軽にお寄せください。30周年行事を賑々しく楽しく成功させるため、今から多数のご参加をお願いしたく宜しく願い申し上げます。

* 過日、東京新聞の中澤と名乗る記者から東京都の高尾山で昆虫採集禁止の動きがあるが、愛好者グループと思われるかたがたのお話をおききたいと電話インタビューがありました。過去に手痛い目にあってマスコミ不信に陥っている私はかなりかまえて当たり障りのない返答をしておいたが、下記に掲載記事（わざわざ新聞を送ってきてくれた）を付したので読んでみれば分かるように、行政側、愛好者側どちらにも付かず中間的な立場でよい文章を書いてくれました。鼻屑目に見ればやや愛好者側とも取れます。さらに自分は武蔵野支局ですのでなにかの折お役にたてるかも知れませんかと言ってくれました。マスコミ不信が少し解消されそうです。

高尾山昆虫採集できなくなる!?

昆虫の日本三大宝庫の一つで、採集のメッカともいわれる高尾山（東京都八王子市）。しかし、最近、「高尾山で昆虫採集ができなくなるかもしれない」。こんな懸念が昆虫愛好家の間で広がっている。採集規制の動きがなかなか持ち上がったからだ。いったい、高尾山で何が起っているのか。規制の背景を探ってみた。

昆虫の愛好家に衝撃が走ったのは、昨年三月。高尾山や奥多摩、小笠原諸島など都内の自然公園の適正な利用を検討しようとして、有識者からなる都の検討会が中間報告を公表した。そこで提案されたのが、昆虫保護を目的とする「虫捕り網の持ち込み禁止」だった。

国定公園に指定されている高尾山は、動植物採集が規制される特別保護地区の対象外。五千種を超える昆虫が生息し、首都圏の愛好家の聖地であるとともに、夏には子どもたちが採集に訪れる。小笠原諸島のように隔離された地域とは環境が異なるにもかかわらず、自然公園を一律に採集規制しようという報告に、愛好家が猛反発した。

結局、検討会の最終報告は「昆虫の保護を図るため、現地



子どもたちが自由に網を持って昆虫採集できなくなる日が高尾山に来るのだろうか…=東京・高尾山で

の状況を考慮した適切な対策をどの程度まで許されるかの線引を実施する」と表現が改められ、対象だ。ただ、高尾山では動物の採集を規制する法律はない。利用の啓発や不正行為の監視を行うため、二年前から配置している都の自然保護員が、昆虫採集に来た人を見かけると、自物を呼び掛けるようになった。林野庁や八王子市、自然保護グループなど高尾地域連絡会を減するなど環境への影響が大きい」と自然保護を強調する。これに対し、日本昆虫協会会長で、文京区の自宅に「ファーブル昆虫館」の詩人の館を開いた奥本三郎さん（73）は「生態系に影響を及ぼすという科学的根拠があるのか。昆虫採集は力強い繁殖力で個体数は力

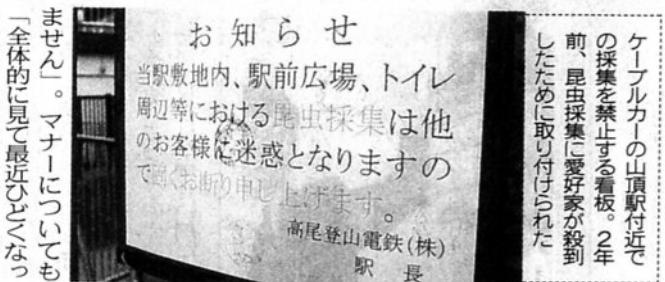
都「生態系に影響」と規制検討



高尾山からは、工事が進む圏央道の八王子ジャンクションが見える

実際、高尾山では規制に迫られるほど昆虫が減っているのか。都の出先機関、高尾管理センターは、ある雑誌に取り上げた昆虫を探しに、高尾山のケーブルカー山頂駅に愛好者が殺到した。二年前のケースを挙げ、「一、極集中による生態系への影響は考えられる」と言う。しかし、科学的根拠は「高尾山の昆虫のデータがないので実態は分かり

ません」。マナーについても「全体的に見て最近ひどくなっただとは言えない」とする。都緑環課は「高尾山は年間二百万人以上が利用し、オーバークースの状態。自然が荒れてきているのは事実で、生物の多様性や公園の目的を考えれば神経質にならざるを得ない」という。解剖学者で昆虫採集にも造詣が深い養老孟司さん(66)は「本当に自然保護を考えるなら、昆虫採集より先に高速道路などの



愛好家「根拠は？ 開発規制が先」

06.7.22 新報



養老孟司さん

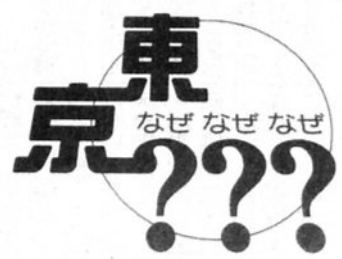


奥本大三郎さん

開発行為を規制すべきだ。採集規制が免罪符にされてはかわらない」と苦言を呈す。昆虫専門の雑誌社「むし社」(中野区)の藤田宏編集長(56)も「日本の昆虫研究はアマチュアに支えられてきた。ノウハウや知識が豊富な愛好家が規制されたら、誰が調査、研究するのか。高尾山が規制対象となれば、全国に波及することも考えられる」と危惧する。奥本さんは「子どもたちを、まずまず自然から遠ざける」と教育上の弊害も指摘した。夏休み前の休日、高尾山で網を手にとり散策していた父親(63)は「自分が子どものころは網を持って野山を駆け回った。自然保護も分かるが、虫が

捕れなくなれば寂しいですね」とほつり。

高尾山に登るケーブルカーの山頂駅からは、山を削り着々と工事が進む圏央道(首都圏中央連絡自動車道)のトンネルが見えた。文と写真・中沢誠/紙面構成・松島英二



* 新刊

| | | | | |
|-------------|--------|------|---------|--------------|
| 琵琶湖里山ふるさと散歩 | 今森光彦 他 | 新潮社 | ¥ 1400 | 0120-468-465 |
| 日本の迷蝶 III | 白水隆 | 蝶権出版 | ¥ 15000 | 072-627-9828 |

| | | | | |
|------------------------|--------|---------|-------|-----------------------------------|
| 昆虫関連団体雑誌年鑑 2006 | 英裕人 他 | フタオ会 | ¥2000 | |
| | | | | 〒680-0804 鳥取市田島 688-2 |
| 日本産蝶類標準図鑑 | 白水隆 | 学研 | ¥7350 | 03-3726-8188 |
| ゲッチョ先生のおもしろ博物学 | 盛口満 | ボーダーインク | ¥1600 | 098-835-2777 |
| 京都フ北部地方に生きるセミ (1) | 嶋田勇 | あまの橋立出版 | ¥2300 | 0772-22-0018 |
| ペルーの蝶類 VOL. 1 | 矢崎康幸 他 | 自費出版 | ¥8000 | |
| | | | | 〒090-0054 北見市双葉町 1-17 |
| Spinda classics VOL1.2 | 著者多数 | 京大蝶類研究会 | ¥8000 | |
| | | | | 〒606-8324 京都市左京区吉田二本松町 1-201 松浦宗規 |

* 新聞紙上より

インターネットなどで大容量の情報をやりとりできる光ファイバーをガラスが切断する被害が首都圏などで増えるなか、東海以西では、クマゼミに損傷される例が、夏場に多発していることがわかった。

西はクマゼミ

06.6.16 読売

温暖化の影響か、都市部に増えたクマゼミが、木の枝と間違えて産卵管を家庭用ケーブルに突き刺し、内部の光ファイバーを傷つけるのが原因だ。通信事業会社は、損傷しにくい新型ケーブルを導入するなど、セミ時雨の季節を前に予防対策に追われている。

NTT西日本は静岡、岐阜、

光ファイバーの天敵

枝と勘違い 産卵管刺す

富山以西が営業エリアで、クマゼミの分布とほぼ重なり、昨年は北陸と山陰を除くほぼ全域で約1000件の被害が出た。近畿地方で光ファイバー回線を提供する関西電力系の「ケイ・オプティコム」でも約200件の被害があった。

損傷を受けるのは、幹線と各家庭の間をつなぐ「ドロップ線」という細いケーブル。ポリエチレンの被覆の中に直

径0.25ミリの光ファイバーの心線(ガラス)が通っている。

クマゼミの産卵管は太さ約1ミリの硬い。ケーブル表面の溝から刺すことが多く、真下に心線があるため、的中しやすいらしい。

クマゼミは近年、東京周辺や北陸でも見かけるようになったが、数は少なく、被害の報告はない。

クマゼミ 体長6〜7センチで、日本で最も大きいセミ。温暖な地域の平野部にすむ。たくさん集まり、シヤアシヤアと鳴く。